

二中図書だより

2月号

平成26年2月3日 第二中学校図書室

～太宰府天満宮の飛梅～

2月になると、各地で梅の花が咲きはじめます。寒さに耐えて咲く、紅白の花の美しさとほのかな香りを楽しみます。みなさんも、小さな春をぜひ見つけてみてはいかがでしょうか。

平安時代の学者であり政治家でもあった菅原道真公（学問の神様として有名です！）をまつる、福岡県の太宰府天満宮の境内に「飛梅（とびうめ）」という古い梅の木があります。

道真公は、その出世をねたむ人のうそのつげ口のために、地位を下げられて筑前国（現在の福岡県）におかれた太宰府という役所に追われることになります。京の都をはなれるとき、いつも梅見をしていた庭の梅の木に向かい、

「東風吹かば 匂ひおこせよ 梅の花 あるじなしとて春なわすれそ」

と歌をよみました。「春になって東からの風が吹いたら花を咲かせて、その香りを風に乗せて太宰府まで送っておくれ。主人の私がいなくなっても、春になったのを忘れないでくれ」という意味です。

やがて道真公が太宰府につくと、梅の木は主人をしたって一夜のうちに京都から飛んできて、この地に根づいたということです。（今年は1月30日に開花したそうです）3年生にも早く春が訪れるよう願っています。

～生徒会費で本を購入しました！～

「ぜひ生徒のみなさんに本を読んで欲しい」と眞下先生に言っていただき、生徒会費の予算で新しい本を買ってきました。3学期は少しの本しか購入できないので、厳選して購入させていただきました。さて新着本は…！？

『トリコ 超デカイぞう！リーガルマンモス(他1冊)』(村山功)・『密室に向かって撃て！』『完全犯罪に猫は何匹必要か？』『交換殺人には向かない夜』(東川篤哉)・『絶対城先輩の妖怪学講座〈一〉〈二〉』(峰守ひろかず)・『櫻子さんの足下には死体が埋まっている①～③』(太田紫織)・『探偵・日暮旅人の壊れ物』(山口幸三郎)・『明日町こんぺいとう商店街』(大島真寿美ほか)・『相棒 season11㊦』(碓卯人)・『コンビニたそがれ堂 空の童話』(村山早紀)・『悲報伝』(西尾維新)・『一鬼夜行 枯れずの鬼灯(他1冊)』(小松エメル)・『風にもまげず粗茶一服』(松村栄子)ほか全35冊です。

☆3年生最終返却日は2月28日(金)となります☆

☆新しい本が入りました☆

『密室の鍵貸します』(東川篤哉)

しがたない貧乏学生・戸村流平にとって、その日は厄日そのものだった。彼を手ひどく振った恋人が、背中を刺され、四階から突き落とされて死亡。その夜、一緒だった先輩も、流平が気づかぬ間に、浴室で刺されて殺されていたのだ！かくして、二つの殺人事件の第一容疑者となった流平の運命やいかに？ユーモア本格ミステリーシリーズで、ドラマ「私の嫌いな探偵」原作本です。

『猫とわたしの七日間』(大山淳子・村山早紀・若竹七海ほか)

猫は不思議と謎を連れてくる…。遺産争いに巻き込まれた猫の幽霊騒動、盗難疑惑から浮上した行方不明事件、まねき猫がしゃべり出すユーモアミステリーから先輩が飼っていた黒猫と過ごした切ない七日間を描く、すこし不思議な物語まで、人気作家6人が「猫と過ごす七日間」という共通設定のもと競作！猫好きにはたまらないかも！？

『オーダーは探偵に 謎解き薫る喫茶店』(近江泉美)

就職活動に疲れ切った女子大学生・小野寺美久が、ふと迷い込んだ不思議な場所。そこは、少し変わったマスターと、王子様と見まがうほど美形な青年がいる喫茶店「エメラルド」だった。おとぎ話でしか見たことがないその男性にうっかりトキメキを感じる美久。…が、しかしその王子様は、なんと年下の高校生でしかも口が悪くて意地悪で、おまけに『名探偵』で…！？どんな謎も解き明かすドSな『探偵』様と、なぜかコンビを組むことになった美久。謎解き薫る喫茶店で、二人の騒がしい日々が始まる。①～③まであります。

『サマー・ランサー』(天沢夏月)

剣道界で神童と呼ばれながら、師である祖父の死をきっかけに竹刀を握れなくなった天智。彼の運命を変えたのは、一人の少女との出会いだった。

高校に入学したある日、天智は体育館の前で不思議な音を耳にする。それは、木製の槍で突き合う競技、槍道の音だった。強引でマイペース、だけど向日葵のような同級生・里佳に巻きこまれ、天智は槍道部への入部を決める。剣を失った少年は今、夏の風を感じ、槍を手にする…。

『春へつづく』(加藤千恵)

卒業式の朝だけ、願い事を叶えてくれる“あかずの教室”の扉がひらく…人生初の告白をしようと奮闘する少年、母親に「お父さんはミュージシャンの岡村靖幸よ」と聞かされて育った少女、自称“本の森の番人で千二百歳”の図書館司書…。不思議なジンクスを巡り、ひそやかに交錯する八つの願いが行き着く先に見える風景とは…。今だけしかいられないこの場所、この瞬間の切なる想いと記憶とを鮮烈に描き出す連作短編集。